

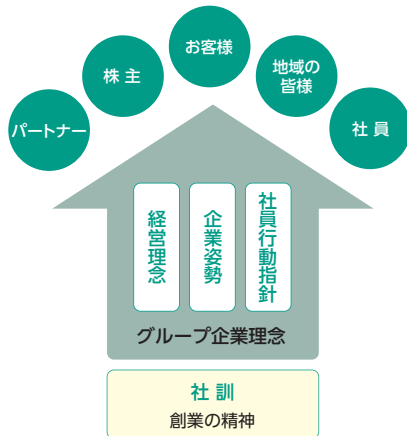
ヤマトグループのCSR

ヤマトグループは、「社会とともに持続的に発展する企業」「働く社員がいつまでも誇りと思える企業」を目指して、グループ社員全員で企業理念を共有することで、「CSR」をさらに推進しています。そして、社会の課題を解決するためのイノベーションを続け、今まで無かったサービスを次々と世の中に送り出し、新しい価値を創出してきました。

こうした取り組みを推進することが、ステークホルダーの皆さまからの信頼と期待に応えることにつながっていくと考えています。

▼ グループ企業理念

グループ企業理念の構成図



社訓

- 一、ヤマトは我なり
- 一、運送行為は委託者の意思の延長と知るべし
- 一、思想を堅実に礼節を重んずべし

経営理念

ヤマトグループは、社会的インフラとしての宅急便ネットワークの高度化、より便利で快適な生活関連サービスの創造、革新的な物流システムの開発を通じて、豊かな社会の実現に貢献します。

企業姿勢

1. お客様の満足の追求
2. 人命の尊重
3. 働く喜びの実現
4. 法の遵守と公正な行動
5. 地域社会から信頼される企業
6. 環境保護の推進
7. 個人情報の保護
8. コミュニケーションの充実と共存共栄
9. 情報開示と説明責任の実践
10. 企業不祥事への対応

社員行動指針

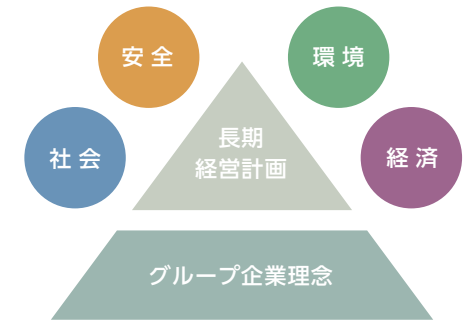
1. 社会の一員としての役割
2. 法と倫理に基づいた行動
3. 職場ルールの遵守
4. 人間性を尊重する職場づくり
5. パートナーとの良好な関係の維持
6. お客様への最良のサービスの提供

「安全」「環境」「社会」「経済」の4分野での責任を果たします。

ヤマトグループのCSR活動は、「グループ企業理念」に則り、「安全」「環境」「社会」「経済」の4分野を軸に展開しています。

現在の長期経営計画「DAN-TOTSU 経営計画 2019」では、「ガバナンスの強化とCSRの推進」を定めています。良き企業風土づくりを継続することが、法令・社会規範に合った事業活動の推進に寄与し、ひいては今後のグループ全体の事業継続を可能にするものと考えています。

▼ ヤマトグループのCSR



CSVの考えのもと地方自治体などと連携して、社会的課題の解決に貢献します。

ヤマトグループは、宅急便の開始以来、数多くのサービスを創造し、お客さまの課題を解決しながら企業としての経済的価値と社会的価値を同時に実現する「CSV (Creating Shared Value)」の取り組みを展開してきました。

現在の日本は少子高齢化や過疎化など

といった大きな課題に直面しているため、地方自治体など行政機関と連携して社会的課題の解決に貢献していく「プロジェクトG (Government)」に注力しています。2016年6月までに1,770件の案件が検討され、そのうち529件を実際にサービスとして提供しています。

▼ プロジェクトGが目指すこと

